

EOのフォーラム用語

EO(起業家機構)では、組織内で使用するフォーラム用語を進化させています。EOフォーラムファシリテーターと協議し、また、フォーラムに参加するEOメンバーからの意見を考慮した結果、フォーラムの本質をより良く反映するよう、用語を簡素化、更新、改善する必要があることが明らかになりました。この変更により、フォーラムはプログラムの基本を損なうことなく維持しながら、参加者にこれらの用語をより良く理解していただくことができます。

以前の用語	新たな用語	変更理由
EOゲシュタルトマインドセット	フォーラムマインドセット	<p>ゲシュタルトという言葉には、心理学の分野では別の意味合いがあり、それは、「ゲシュタルトにより、全体は部分から独立した独自の現実を持っている」という私たちのフォーラムでの使用法と一致しません。これについて、メンバーから本や参考文献を求められても、正確な情報源として示せるものはないのです。</p> <p>フォーラムマインドセットは、経験シェアのアプローチや、断定・助言をしないという意味合いを含む、より正確な用語と言えます。以前のメンバーのために文脈を保つ目的で、ゲシュタルトという言葉を含弧内に残すことは重要です。</p>
アップデート	5%リフレクション	<p>アップデートという言葉は、起こったことの報告を意味します。また、内省よりも、重要ではないタスクの最新情報をグループに伝えることに、フォーカスしています。</p> <p>リフレクション(振り返り)という言葉は、単に物事を報告するのではなく、その物事を振り返ってよく考えることを、メンバーに促します。</p> <p>5%という広く理解されている言葉を付け加えたのは、フォーラムではその5%についてのみ話すべきであることを示すためです。</p>
フォーラムプレゼンテーション	ディープダイブ	<p>プレゼンテーションという言葉には、特定の主題に関する専門家がパワーポイント資料を準備して、人前で発表するというイメージがありますが、これはフォーラムで行われることの本質と相反するものです。</p> <p>ディープダイブという言葉は、水面下に潜るというその本質を表しており、それをうまく行かせるためのサポートシステムもあります(広い海で一人で潜るべきではありませんから)。この言葉から、良いたとえが生まれます。例えば、水面下に潜る(より深くまで潜る)、問題の核心に迫る(80%が水面下にある冰山を探るように)、ダイブするには資格が必要、必要な人と酸素を共有、サンゴの下をライトアップするダイビング仲間の存在、などです。</p>
アドバンスフォーラムシリーズ(AFS) シフトイントゥハイギア(AFS) ファイアードアップ(AFS) ファストトラック(AFS) ダイブディープ(AFS)	フォーラムワークショップ フォーラムの基本事項 フォーラムのツール 目標設定と アカウントビリティ より深いつながり	<p>EOでは頭字語が多く使われていますが、ほとんどのメンバーはAFSが何を意味するのか理解していません。</p> <p>AFSに関連した以前の用語は、運転をテーマに定められたものですが、今では適切なものとは言えなくなりました。</p> <p>そこで、各ワークショップで取り上げられる内容を正確に表現するため、用語を平易なものに変更しました。</p>